

## 第35回エネルギー政策検討会会議議事録（要約）

### 1 会議の概要

- (1) 日 時：平成17年8月25日（木）午後13時00分から13時30分
- (2) 場 所：福島県庁 特別室（福島市杉妻町2-16 県庁本庁舎2階）
- (3) 次 第
  - ア 開 会
  - イ 議 事  
協議事項  
「原子力政策大綱（案）」に対する県の意見（案）について
  - ウ 閉 会

### 2 開 会

#### 【司会】

- ・ 只今から第35回エネルギー政策検討会を開催する。
- ・ 本日は、原子力政策大綱（案）に対する県の意見のとりまとめについて協議したい。
- ・ 事務局から説明させる。

#### 【事務局】

資料 1 に基づき説明。

#### 【司会】

- ・ 只今の説明について、何か意見等があればお願いしたい。

#### 【検討会メンバー】

- ・ 改めて全体を見て思うのは、平成14年に県で中間取りまとめをして、それから3年近く経っているわけだが、基本的なラインは変わっていないということ。
- ・ この間、国は国で一定の変更というのはされてきたと思うが、今の時点で、また、ほぼ同じ内容のことを話していかなければいけない。この3年間というのはどういうものだったのかなというのを改めて実感している。
- ・ 私たちは非常に愚直なのかもしれないが、電源立地自治体としての立場で、引き続き国民的議論を喚起すること、これを地道に続けていくことしかないのかなと、そういうことを考えている。

#### 【検討会メンバー】

- ・ この大綱（案）を読んでも、現計画と比較しても原子力の開発・利用をより拡大する方針が打ち出されてきているが、その中で安全確保についての考え方が非常に弱いというふうに感じられる。
- ・ この大綱が原子力施策の基本的な考え方を明らかにして、各省庁における施策の企画・推進のための指針になるということが書かれているので、立地自治体として県民の安全・安心の一体的な確保の観点から、このような基本的な事項について意見を出していく必要があると考えている。

#### 【検討会メンバー】

- ・ 何回かこの委員会の傍聴に行く機会があったが、やはり一番大きいのは、プロセスの問題としてのこの策定会議の委員の構成。現場に行くとよく分かるが、ほぼ全員が推進をするということから議論がされているから、他の方の意見が死んでしまっている。

- ・ 他の方の意見があまり吟味されることなく、その場その場で締め出されていくので、本当に議論がされたのかなど。それが安全性の問題とか経済産業省から保安院の分離の問題が、あまり真剣に議論されなかった原因ではないかという印象を持っている。

【司会】

- ・ ちょっと論点がそれるかもしれないが、この大綱の意見のまとめを見ると、非常に細かい点にいろいろと触れてきている。
- ・ とかく通俗的な議論の中で、では福島県がどうなんだ、そういうことがありながら結果としてどうなのかとまとめたがる議論があるかと思うが、そして、それを一言にまとめると「4ヶ月の拙速な中でこういうことをまとめて、論点が十分議論されていない」ということに尽きるのだけれども、そういうやり方をすると論点がぼかされたような形になると思うので、敢えてここはこういう形で細かく細かく指摘していくまとめ方というのは、非常にインパクトがあるのではないかという感じを持っている。

【検討会メンバー】

- ・ 原子力施設の防護については一生懸命やっているが、いろんな観点からやはり安全性というのは考えていっていただきたい。

【検討会メンバー】

- ・ それぞれの検討会メンバーから意見が出たが、平成14年にも中間とりまとめをしている。その後、2、3年の間のいろいろな事象や事例等も踏まえて、私どもの意見をこの政策大綱に対する意見としてとりまとめた。
- ・ 細かいようにも見えるが、基本的にこの間の、中間とりまとめから始まって、非常に重要な指摘をまた改めてしていると、いろんな問題点についてしているということで意見を聞いていた。
- ・ 私どもは県民の安全、安心というのがひとつの立脚点であるが、そういう面からも今後も国の動きを注視して言うべきことは言っていきたい。
- ・ なお、9月4日には核燃料サイクルについての国民的議論喚起の一環として、東京で国際シンポジウム「核燃料サイクルを考える」を開催する。国民に見える形で分かりやすく意見を述べていただくこととしており、活発な議論を期待している。
- ・ 本県としてはこうした取り組みを通して、今後ともできるだけ国民的議論が、そして、また、今のシステムとか、こういう大きな問題が、国民的な議論、あるいは国会の議論はもちろんだが、国会の議論もなくして展開している今の状況について、もっともっといろいろ指摘していきたいと思うが、そういう意味では、今回の政策大綱（案）に対する意見は、本当に正にすばらしいまとめ方をしている。

【司会】

- ・ それでは、資料の県の意見については福島県の意見として決定し、今後国に対して提出し、申し上げていくことにしたい。
- ・ 9月4日に国際シンポジウム「核燃料サイクルを考える」するので、それについて事務局から報告させる。

【事務局】

資料 2 に基づき説明。

【司会】

- ・ 以上で第35回エネルギー政策検討会を閉会する。